



45022-XKZ-K000 SPORTS PAD Type TOURING

for HONDA ELYSION

取扱説明書

当製品をご使用される皆様へ

この度は、無限製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用される前に必ず本文を読み、注意点等十分ご理解の上ご使用下さい。



注 意

- 摩耗限度を超えたブレーキパッドは本来の制動力を発揮できない恐れがあるばかりでなく、ブレーキローターを傷めたり、事故等を引き起こす可能性があり、きわめて危険ですので絶対に使用しないで下さい。
- 交換直後は、パッドとローターに「馴染み」が出ていないため、一般的に若干制動力が低下します。「馴染み」が出るまでは十分な制動距離を確保して下さい。
- 当製品は、一般的なノーマルパッドとは異なり、制動性能重視のため、ブレーキノイズ・ダスト・摩耗の性能に関して劣る場合があります。
- ブレーキパッドは重要保安部品です。交換作業は認証工場で行って下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T-E-C 商品事業部 商品課 国内営業ブロック

TEL. 048-462-3135 FAX. 048-462-3121

【営業時間 9:00~18:00】

当製品の特性

- 純正品に対しローターやパッドの表面温度が上昇した時でも、制動力が安定しています。
- ストリート走行時、多少キーキー音が出ることがあります。



45022-XKZ-K000 SPORTS PAD Type TOURING for HONDA ELYSION

取 付 説 明 書

当製品の組込み作業を行う皆様へ

この度は、無限製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
取り付け前には、本書をよく読みご理解の上、正しくお取り付け下さい。
取り付け後は、本書と取扱説明書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご 注 意

1. 開梱後は、ただちに部品類の不足や破損のない事を確認して下さい。
2. 取り付け前に型式の確認を行って下さい。当製品は、各車種ごとに専用設計をしておりますので、適応車種以外への取り付けは行わないで下さい。
[適応車種] ELYSION (RR3)
3. ブレーキパッドは重要保安部品です。交換作業は陸運局認定の整備工場で行って下さい。交換に伴う不具合により生じた事故等につきましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承下さい。
4. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T-E-C 商品事業部 商品課 国内営業ブロック

TEL. 048-462-3135 FAX. 048-462-3121

【営業時間 9:00~18:00】



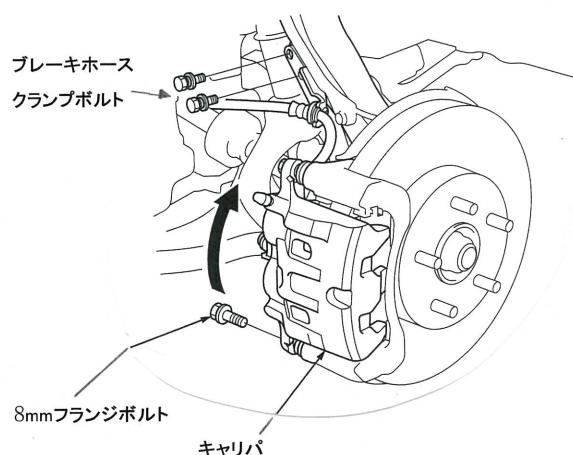
警 告

- 走行直後に交換作業を行うと、ローターやパッドが非常に高温になっており大変危険です。交換作業は必ず十分冷えてから行って下さい。
- パッドの摩擦材にはあらゆるファイバー(繊維質)が含まれており、これらの粒子が手に刺さる恐れがあります。交換作業の際は、必ず軍手等の手袋をご使用下さい。
また、パッドからの研磨粉・摩耗粉の飛散により、体内への侵入が考えられますので、十分な注意が必要です。
- パッドの装着に際しては、サービスマニュアルに従ってディスクローターに異常摩耗、段減り、クラック、振れ等がないかを十分点検して下さい。

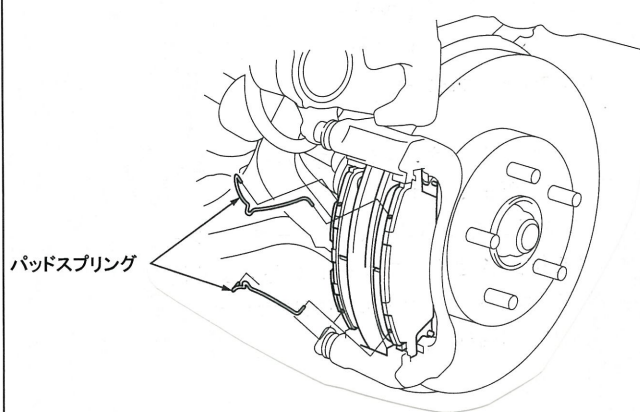
フロントブレーキパッドの交換

- 注意**
- ・ブレーキ ディスクとパッドの摺動面に油脂類を付着させないこと。
 - ・ホースをダンパから取り外す際、ホースマウンティングブラケットを変形させないこと。
 - ・パッドには引きずり防止のために、パッドスプリングが取り付けられている。不用意にキャリパボディを持ち上げるとパッドスプリングが飛ばされるので注意すること。

- ① ブレーキホースクランプボルトをナックルから外す。
- ② キャリパ下側の 8 mm フランジボルトを取り外し、キャリパボディをゆっくり持ち上げる。



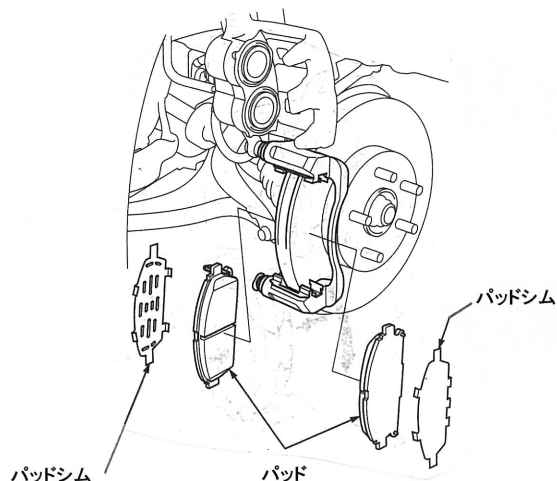
- ③ パッドを指で押さえながらパッドスプリングを取り外す。



- ④ キャリパボディを針金等で固定する。

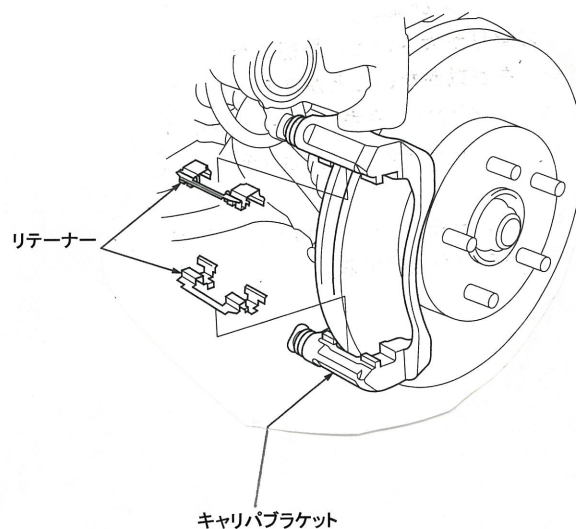
- 注意**
- ・ブレーキホースでキャリパを吊り下げないこと。また、ブレーキホースをブラケット及び周辺部で損傷させないこと。

- ⑤ キャリパブラケットからパッドとパッドシムを取り外す。



- ⑥ リテーナーを取り外し、清掃する。

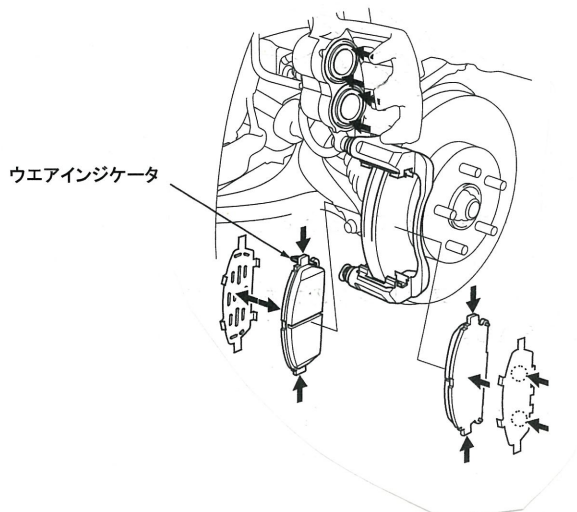
- ⑦ キャリパブラケットを清掃する。



- ⑧ リテーナーを上下に注意して取り付ける。

⑨下図の矢印で示した箇所にモリコートM77グリスを塗布する。

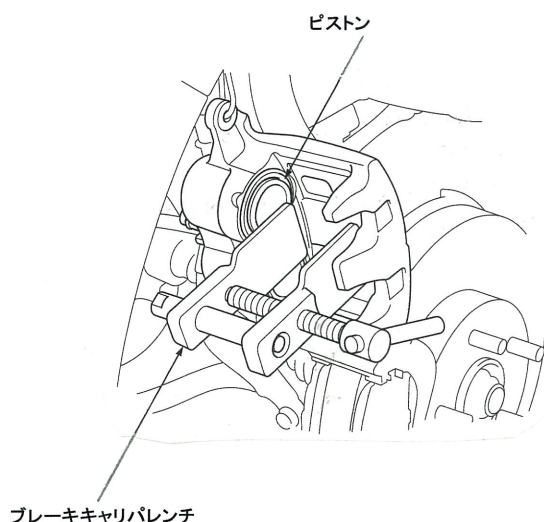
- 注意**
- ・シム装着時、パッドとシムからグリスがはみ出さないようにすること。
 - ・ブレーキディスクとパッドの摺動面に油脂類を付着させないこと。



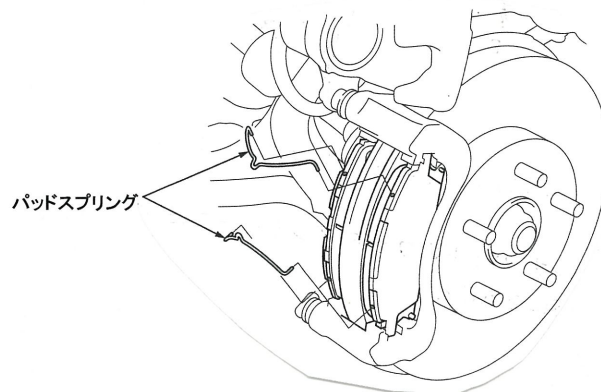
⑩パッドにシムを取付けてキャリパブラケットに取り付ける。

⑪キャリパボディ内を清掃し、市販工具（ブレーキキャリパレンチ）を使用してピストンを静かに押し込む。

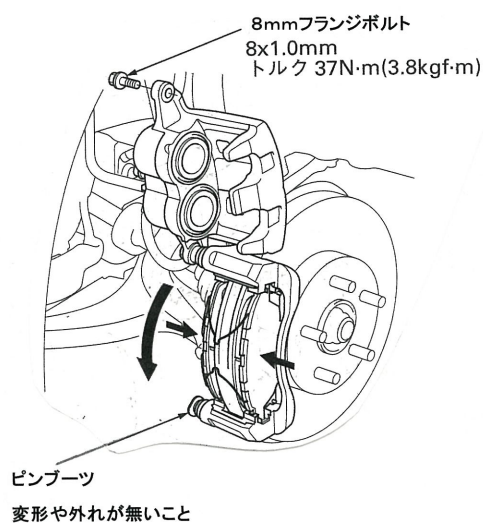
- 注意**
- ・ピストンを押し込むと、マスタシリンダのリザーブタンクからフルードがあふれる場合がある。フルードの量を確認しながらピストンを押し込むこと。



⑫指でパッドを押さえておき、パッドスプリングを取り付ける。



⑫キャリパボディを元の位置に戻し、8 mm フランジボルトを規定トルクで締め付ける。



⑬ブレーキホースをナックルに取り付ける。
締めつけトルク 9.8N・m(1.0kgf・m)

⑭ブレーキペダルを数回踏んで、ピストンを押し出す。

- 注意**
- ・ピストンが戻されたまま走行しないこと。ピストンの戻りが大きいと、最初にペダルを踏んだ時にブレーキが効かないことがある。

⑮マスタシリンダリザーブタンクのブレーキフルード量を点検する。

⑯取り付け後、ブレーキホースのねじれ、他部品との干渉や液漏れがないか点検する。